

永遠のヴェルサイユ

～宮廷生活と芸術文化～

講師 西洋美術史家 木村 泰司



©高木昭仁

フランスが最も栄華を極めたブルボン朝時代、ヴェルサイユ宮殿は華麗なる宮廷文化の舞台でした。フランス革命から200年以上たった今なお、当時と変わらぬ荘厳な宮殿は世界中の人々を魅了してやみません。

ルイ14世以降、君主が変わるごとに、新たな宮廷スタイルが発展しました。この講座では三つの時代それぞれの宮廷での日々、そしてそれぞれの王朝時代におけるフランス社会が生み出した芸術文化を辿ります。(講師・記)

4月28日	ルイ14世時代(バロック)
5月26日	ルイ15世時代(ロココ)
6月23日	ルイ16世時代(新古典主義)

<講師紹介>木村 泰司(きむら たいじ)

1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等、本物に触れながら学ぶ。知識だけでなくエスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『印象派という革命』(集英社)、『美女たちの西洋美術史 肖像画は語る』(光文社新書)、『名画は嘘をつく1～3』(大和書房)、『世界のビジネスエリートが身につける教養 西洋美術史』(ダイヤモンド社)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

■日時 2018年4/28、5/26、6/23 土曜日 15:30～17:00

■受講料(税込み) 会員 9,072円 一般 11,016円

(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。)

※講師の病气、受講者が一定数に達しない場合、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。
※お申し込みの際にご記入いただく個人情報、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、講座企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 立
朝日JTB・交流文化塾 | 川

これからの予定

2018年7月期

「木村泰司の西洋美術史 ～エルミタージュ美術館～」

7月	ルネサンス～バロック絵画
8月	バロック～ロココ絵画
9月	クロザ・コレクションと19世紀絵画

2018年10月期

「木村泰司の西洋美術史 ～マンハッタンの至宝たち～」

10月	ザ・クロイスターズとフリック・コレクション
11月	メトロポリタン美術館(前編)
12月	メトロポリタン美術館(後編)